

## ナント留学体験談

人文学部 西脇佳那

私はナント大学に2年の後期から3年の前期の9か月間留学しました。私がなぜナント留学を決めたのか、今思えばとても漠然としたものでした。そもそも私の主専攻はメディア表現文化で、フランス語ではありません。何年も前から留学するのが夢だったというわけでもありません。ただ、時間がある学生のうちに今しかできない体験をしたいということは1年生の後半から考えていました。普通に授業を受けて、サークルやバイトをしてという日々は充実していましたが、単調にも思えました。そんなとき別の国の短期留学セミナーに参加して外国に興味を持ち、ならば次はフランスに行って、せっかく学んだ初修外国語をもっと伸ばしてみようと思い志望書を出しました。

とはいうものの初めてのヨーロッパかつ自宅生の私にとっては初めての一人暮らしでもあったので不安も多く、半年間だけの留学のつもりで渡仏しました。しかし留学が始まって1か月過ぎた頃から、半年では短すぎる、もっとナントにいたいと感じている自分がいました。そこで両親、留学交流推進課や学務の方々、先生方と相談し、新大とナント大学から許可をいただいて2セメスターの終わりまで期間を延長することができました。行く前にも一部の先生や先輩からは、いれるなら一年いたほうが絶対いいよと言われていましたがまさにその通りでした。後に詳しく書きますが、半年留学する場合授業があるのは9~12月で年内には授業が終わってしまい、留学生活にも慣れて楽しくなってきた頃にはもう帰国ということになりかねません。また、渡仏した後に延長手続きを行うことも容易なことではありません。私の場合は、留学交流推進課や学務の方を通じて両大学から許可していただいたこと、進級、卒業に関して先生方からの助言をいただいたこと、私が延長可能なビザを持っていたことなどが幸いし一時帰国することなく延長手続きができましたが、多くの方の手を煩わせることとなってしまいました。今後留学を考えている方には、渡航前によく考えたうえで留学期間を決めていただけたらと思います。

語学学校では1日平均2時間×2コマ、読む、書く、聞く、話すの授業を中心に、文法、発音、フランスの地理歴史、文化も学びました。授業は全てフランス語で、度々あるグループワークやプレゼンでは自分の意見が求められます。周りの学生がどんどん発言していくなか、先生の指示さえも分からずくじけそうになることもしばしばありました。文法や作文は得意なのに、あなたはと思う？と聞かれたときに咄嗟に言葉が出てこない。それはもちろん私の語彙力が無いせいでもあります。それ以前に物事に対して自分の意見を持つことを今までやってこなかったからでした。日本だと受け身のまま周りに合わせていても問題ないでしょう。しかし世界では、人と異なっていようが意見を言い合うことが重視されます。知らない、分からない、と答えるとつまらなそうな顔をされます。実際、集まった人の国籍も年齢もバラバラなクラスでは、各人の話が興味深く発見の日々でした。私は自発的に発言することは最後までできませんでしたが、広い分野に興味を持ち自分の考えを伝

えることを今後も心掛けていきたいと思います。

1コマ2時間の授業は長く感じますが、長期的にはゆとりがあるスケジュールです。1学期はクラス分けテストの後9月半ばから授業が始まり、12月初旬のテストで終わります。冬休みの後1月中旬から2学期で、5月初旬に終わります。加えて学期中も何らかの1、2週間のバカンスや3連休があったので、日本にいるとき以上にゆっくり過ごしたり旅行に行ったりすることができます。私は課題や最低限の復習を平日に終わらせて、バカンス中はほぼ毎回国内外を旅行していました。旅行についてはほとんどが良い思い出ばかりですが、これから留学される方に私の体験からお伝えしたいことがあります。それは盗難に気を付けるということです。私は旅行から帰る途中TGV内の荷物置き場に置いていたスーツケースを盗られて困った体験をしました。貴重品が入っていなかったただけ良かったのですが、帰国も差し迫った頃だったので、もしパスポートを盗られていたら予定どおりに帰って来られなかったでしょう。このような被害に遭わないためにも、日本とは違うのだという意識を常に持って行動するようにしてください。

9か月間留学して嬉しかったのはフランス人の友達に、来た時よりも会話が上手くなったねと言われたことです。フランスに着いた当初はスーパーでの買い物もままならず、人と話すのが億劫でした。今でも上手く表現が出てこなかったり、間違った解釈をしてしまったりすることも多々ありますが、以前よりは聞き取れるようになったのかなと思います。今後も留学生と交流するなり試験を受けるなりして、語学力を向上させていきたいです。まだ就職のことはぼんやりとしか考えていませんが、この留学をきっかけに新潟の国際交流事業に携われたらいいなと思うようになりました。

あと特筆すべきは「なんとなくナント」というボランティア団体です。この団体はナントに留学にする日本人学生の生活面でのサポートを行ってくれて、日本語を話せる会長さんには留学中本当にお世話になりました。銀行の口座開設や寮と大学の諸手続きのサポート、生活に必要な食器等を貸していただくところから、前述した盗難のトラブルで警察に行った時もついてきていただき、何から何まで面倒を見てくれました。「なんとなくナント」がある限り、生活面の不安は解消されると言っても過言ではないでしょう。私にはそのくらいありがたい団体でした。

今後留学を考えている方へ。まず、迷っているなら一歩踏み出してみることを勧めます。語学力に不安があっても大丈夫です。語学を学びに行くのだから最初はやらないのが普通です。むしろ留学期間中にこれだけ伸ばしたい、留学を通して成長したいという思いがあれば十分ではないでしょうか。あとは、語学力の上達以外にも、その国で実際に生活して異国の文化や考え方に触れられることも長期留学の醍醐味です。臆することなくチャレンジしてみてください。

最後になりましたが、私が無事に留学をして延長までさせて頂いて帰って来られたのは、留学交流推進課や学務の方々、「なんとなくナント」の皆さん、先生方、家族や友達、沢山の方の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

